

(第2号様式)

冲高特第1569号
令和7年2月27日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立沖縄高等特別支援学校
校長 城間 政次
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年12月8日	場所	沖縄高等特別支援学校 会議室	出席 状況	3名/5名中
第2回	日時	令和6年12月8日	場所	沖縄高等特別支援学校 会議室	出席 状況	4名/5名中
第3回	日時	令和7年2月19日	場所	沖縄高等特別支援学校 会議室	出席 状況	5名/5名中

2 学校評議員に求めた事項

第1回:福祉コースについて、寄宿舎の取り組みについて、ランチルームの状況について
第2回:交流及び共同学習について、寄宿舎の運営状況について
第3回:学校評価について、福祉コースについて、進路決定状況について

3 学校評議員の意見

- ①福祉コースの設置は子ども達の就職・目標に繋がるのでいい取り組み。進路選択について親も一緒に巻き込められたらいい。
- ②ランチルームについて、人が多すぎてストレスを感じる生徒が居るのでは?希望があれば他の場所で食べたり、同じ空間だが仕切り等を使って個別空間を作る等、選択肢を増やせばよい。
- ③前原・具志川高校や保育園との交流は素晴らしい。交流する事で人と人との繋がりが広がっていき、社会勉強に加え継続の力にもなり自信が付くと思うので続けてほしい。
- ④寄宿舎利用について、子供は帰りたいけど、親は預けたい。アンケートを行っても保護者の意向が強いと思うので、アンケート調査を子供と親で分けて実施してはどうか。
- ⑤福祉コースは中部農林高校と連携はあるのか?他校の施設を借りて実習する等は出来ないか。
- ⑥保護者に意識を持たすためにも、自宅からの就業体験を進めて欲しい。家庭から就労へ行く事で家庭も就労先へ合わせ、家庭が整っていき保護者の意識改革になる。
- ⑦福祉コースの倍率について、なぜ低いのか?そのままにせず、分析してほしい。

4 学校運営に反映した事項

- ①就労支援コーディネーターによる保護者研修会の開催
- ②ランチルームでの喫食が困難な生徒について他の部屋で喫食を認める。
- ③「一斉ごちそうさま」の廃止。次年度は喫食後のランチルーム退出について制限を緩和する。
- ④寄宿舎利用に関して、生徒の実態に応じて週中帰宅を認めた。次年度の寄宿舎利用について生徒への聞き取りを行い、通学を希望かつ可能な生徒については保護者と丁寧に調整した。

5 課題その他

- ①自宅からの就業体験実施の拡充
- ②寄宿舎環境の改善(生徒のメンタル面支援・定員に関する検討・生徒間のトラブル防止)
- ③福祉コースに関する社会へのアピール及び志願倍率の改善
- ④他校の施設を活用した実習等実施の検討
- ⑤自立活動の充実